

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	児童課	内線等	2152
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	趣味芸能文化活動事業		
根拠法令等			A 法令	B 条例	C 規則
			D その他	E なし	

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	児童・母子（父子）福祉
------------------	-------------

事務事業の内容

対象	父子・母子・寡婦家庭に対して
手段	（財）蒲郡母子寡婦福祉会に母子等の社会見学を委託することによって
想定する成果	ひとり親家庭の助け合いや悩みなど情報交換と交流の促進を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
参加人員	161人	126人	120人
募集人員	120人	120人	120人
事業内容	三津水族館（清水）視察	犬山モンキーセンター視察	浜松航空自衛隊視察

成果指標

成果指標名	募集人員に対する申込人員率
成果指標の説明	申込人員 / 募集人員 × 100

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	100.0%
	実績	134.1%	105.0%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	150	150	150
	人件費	836	826	842
	(人数)	0.1	0.1	0.1
	合計	986	976	992
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	986	976	992

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	2	2	参加者は、バス3台に分乗し希望者全員が参加できた。
経済効率性	2	2	市は、1人あたり7,000円の費用に対して、1,200円相当の負担額となり適当な範囲内と考える。
事務効率性	2	2	事業委託により事務効率を図っている。
必要性	2	2	1年に1回母子家庭等が、親子で社会見学を通じてお互いの交流をすることは意義のあるものとなる。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	
合計	10 / 15 満点中	10 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	今後も継続すべき事業であると考えますが、父子家庭の参加が少なく、ひとり親家庭がより参加しやすいよう検討したい。
------	---	---	---------------------------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

#### これまでに実施した改善点

観光的な要素だけでなく、広く見識を深める内容を含めた事業とした。

#### 今後改善すべき点

父子家庭の参加が少ないことについて、PR方法等父子家庭の意見を取り入れながら事業を展開したい。

#### 平成16年度予算に反映する項目

--

#### 組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	児童課	内線等	2152
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	身体障害児補装具・重度障害児日常生活用具給付事業				
根拠法令等	児童福祉法・蒲都市児童福祉法施行細則		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	児童・母子（父子）福祉
------------------	-------------

事務事業の内容

対象	身体障害者手帳の交付を受けた児童に対して
手段	補装具・日常生活用具を支給することによって
想定する成果	安定した日常生活の確保を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
申込件数	53件	48件	50件
支給金額	9,100千円	9,939千円	8,900千円

成果指標

成果指標名	申込件数1件当たりの金額
成果指標の説明	支給金額 / 申込件数

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	178
	実績	172	207	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	9,150	9,989	8,950
	人件費	1,672	1,653	1,684
	(人数)	0.2	0.2	0.2
	合計	10,822	11,642	10,634
財源内訳	国	3,136	5,822	4,350
	県	241	72	250
	市債			
	その他			
	一般財源	7,445	5,748	6,034

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	3	3	法律等に基づくもので、身体障害児支援制度として実施している。
経済効率性	3	3	法律等に基づくものであり、行政として利用抑制できない。
事務効率性	2	2	事務量的には多くない。
必要性	3	3	障害児のいる家庭にとって補装具等の費用が高み経済的援助が必要である。
小計	11 / 12 満点中	11 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	
合計	13 / 15 満点中	13 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	A	A	身体障害児施策として継続すべき事業である。
------	---	---	-----------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

今後改善すべき点

平成16年度予算に反映する項目

身体障害児の動向を把握し必要の予算を計上する。

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	児童課	内線等	2152
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	蒲郡市遺児手当支給事業		
根拠法令等	蒲郡市遺児手当支給条例・規則	A 法令	B 条例	C 規則	D その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	児童・母子（父子）福祉
------------------	-------------

事務事業の内容

対象	18歳以下の遺児に対して
手段	遺児1人につき月額2,000円支給することによって
想定する成果	母子、父子家庭の遺児に対する経済的援助をする。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
児童数	903人	928人	916人
支給金額	20,512千円	21,438千円	22,000千円

成果指標

成果指標名	対象児童に対する全児童数の比率
成果指標の説明	対象児童数 / 児童数 × 100

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	6.0%
	実績	5.7%	6.0%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	20,617	21,543	22,105
	人件費	2,507	2,479	2,527
	(人数)	0.3	0.3	0.3
	合計	23,124	24,022	24,632
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源	23,124	24,022	24,632

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	遺児に対して、経済的援助の一部になっている。
経済効率性	2	2	県内のすべての市町村が支給しているなかで低い支給額である。
事務効率性	1	1	支払月が児童手当、児童扶養手当と異なることについて検討を要する。
必要性	2	2	児童扶養手当等を含めて経済的な一助になっている。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	母子、父子家庭の支援となっている。
------	---	---	-------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

事務効率改善のため、県と同様の所得制限限度額とした。

今後改善すべき点

支給対象者を絞り込み、支給金額の増額を図る。

平成16年度予算に反映する項目

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	児童課	内線等	2152
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	放課後児童健全育成事業		
根拠法令等	児童福祉法・蒲都市放課後児童健全育成事業実施要綱	A法令	B条例	C規則	Dその他

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	児童・母子（父子）福祉
------------------	-------------

事務事業の内容

対象	市内の小学校1年から3年生の昼間保護者のいない家庭の児童に対して
手段	小学校の余裕教室及び児童館を利用して、児童クラブを設置することによって
想定する成果	留守家庭の児童を安全に保護する。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
児童クラブ数	7箇所	8箇所	9箇所
加入人数	223人	309人	337人

成果指標

成果指標名	目標児童クラブ設置率
成果指標の説明	児童クラブ設置数 / 目標児童クラブ数（13）

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	69.2%
	実績	53.8%	61.5%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	12,705	13,567	16,023
	人件費	5,015	4,958	5,053
	(人数)	0.6	0.6	0.6
	合計	17,720	18,525	21,076
財源内訳	国			
	県	7,126	7,122	7,913
	市債			
	その他			
	一般財源	10,594	11,403	13,163

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	2	2	目標の「小学校区1箇所の設置」の達成率は61.5%であり、もう一段の努力が必要である。
経済効率性	1	1	一部受益者負担の原則を取り入れる必要がある。
事務効率性	2	2	臨時職員で対応しているため、予算的には効率的である。
必要性	2	2	子育て支援によるニーズは高く必要性は高い。
小計	7 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	市民の関心のある事業で、今後の需要は増加傾向にある。
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	子育てしやすい環境作りが求められるなかで、充実拡大する必要な事業である。
------	---	---	--------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

#### これまでに実施した改善点

小学校内の児童クラブを児童館に移設した。

#### 今後改善すべき点

- 1 未設置小学校区に設置する。
- 2 児童クラブの有料化を検討する。

#### 平成16年度予算に反映する項目

竹島小学校、東部小学校区に児童クラブを設置する。

#### 組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載



# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	児童課	内線等	2143
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	保育園統廃合事業		
根拠法令等	児童福祉法		A法令	B条例	C規則 Dその他 Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	児童・母子（父子）福祉
------------------	-------------

事務事業の内容

対象	入所児童数が減少している保育園を対象に
手段	保育園の廃園を実施して
想定する成果	運営の節約を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
保育園数	19園	18園	18園
定員	2,190人	2,130人	1,850人
入所児童数	1,705人	1,579人	1,494人

成果指標

成果指標名	平成12年度の西浦西保育園の一般運営費	平成13年度わかば保育園の一般運営費
成果指標の説明	平成12年度の西浦西保育園の一般運営費	平成13年度わかば保育園の一般運営費

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	-
	実績	15,148千円	15,148千円	15,148千円
成果指標	計画	-	-	-
	実績	14,507千円	14,507千円	14,507千円
事業費	事業費	7,720	17,661	-
	人件費	835	826	-
	(人数)	0.1	0.1	-
	合計	8,555	18,487	-
財源内訳	国			-
	県			-
	市債			-
	その他			-
	一般財源	8,555	18,487	-

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	3	3	同地区内の保育園2園の内1園を廃園する事により効率よい運営が出来た。
経済効率性	2	2	廃園したことにより運営経費等が節約できた。
事務効率性	2	2	小規模保育園の廃園により効率性が発揮された。
必要性	2	2	児童数減により廃園した。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	1	2	保育園廃園は地域の住民にとっては非常に関心が強い。
合計	10 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	統廃合したことにより経費・運営等が効率よく行われた。（他の小規模園についての検討も必要）
------	---	---	----------------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

### これまでに実施した改善点

13年度西浦西保育園、14年度わかば保育園を廃園し計画は終了した。
-----------------------------------

### 今後改善すべき点

西浦西保育園、わかば保育園の廃園で計画は終了した。今後については、児童数の推移をみて、必要であれば検討していく。
----------------------------------------------------------

### 平成16年度予算に反映する項目

--

### 組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	児童課	内線等	2143
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	18 保育園運営管理事業				
根拠法令等	児童福祉法ほか		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	児童・母子（父子）福祉
------------------	-------------

事務事業の内容

対象	保護者の就労等により保育に欠ける児童に対して
手段	保育所において保育を行うことにより
想定する成果	児童の健全育成と母親の就労などの市民ニーズに答える。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
保育園数	19園	18園	18園
定員	2,190人	2,130人	1,850人
入所児童数	1,705人	1,579人	1,494人

成果指標

成果指標名	保育率	入所率
成果指標の説明	保育に欠ける児童数 / 定員	全入園児童数 / 定員

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	74.6%
	実績	67.6%	68.3%	-
成果指標	計画	-	-	80.8%
	実績	77.9%	76.1%	-
事業費	事業費	95,241	87,588	82,303
	人件費	1,245,342	1,231,187	1,254,878
	(人数)	149.0	149.0	149.0
	合計	1,340,583	1,318,775	1,337,181
財源内訳	国	106,077	102,163	111,097
	県	63,261	65,684	68,353
	市債			
	その他	379,180	337,041	336,100
	一般財源	792,065	813,887	821,631

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	4・5歳保育についてはニーズに対応しているが、3歳児以下についてはまだ充分とはいえない。
経済効率性	2	1	3歳児以下は園区の考慮をなくしたが、4歳児以上は校区を考慮をしているため効率が悪い。
事務効率性	2	2	入所児童数の多い園と少ない園との事務効率の差が大きい。
必要性	2	2	公共のみにならず民営の参入も検討すべき。母親の就労が増え、ひとり親家庭も増えている現状から乳児・延長・一時保育など多様な保育が求められている。
小計	8 / 12 満点中	7 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	市民の関心の強い事業です。
合計	10 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	C	C	保育の多様化により一層子育て環境の充実を求められている状況であり、保育環境の充実に向けて市民と共に議論していきたい。
------	---	---	------------------------------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

#### これまでに実施した改善点

園区制を廃止（4・5歳児は校区を考慮している）しすべての保育園に入園できるようにし効率よい保育運営をした。

#### 今後改善すべき点

保育行政全般において市民と共に検討したい。  
0～2歳保育について民間参入を検討。

#### 平成16年度予算に反映する項目

保育行政全般の見直しを進めていく中、一方で（乳児・延長保育）需要が高い部分については早急に反映させていきたい。

#### 組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	児童課	内線等	2143
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	給食・衛生管理事業				
根拠法令等	児童福祉法		A法令	B条例	C規則	Dその他	Eなし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	児童・母子（父子）福祉
------------------	-------------

事務事業の内容

対象	保育園入所児童に対して
手段	栄養価に富んだ衛生管理のゆき届いた給食を提供することにより
想定する成果	健全な発達を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
保育園数	19園	18園	18園
定員	2,190人	2,130人	1,850人
入所児童数	1,705人	1,579人	1,494人

成果指標

成果指標名	給食実施率
成果指標の説明	給食実施日 / 保育日数

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	77.4%
	実績	77.4%	76.8%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	79,115	76,012	81,315
	人件費	8,358	8,263	8,422
	(人数)	1.0	1.0	1.0
	合計	87,473	84,275	89,737
財源内訳	国	6,921	6,529	7,456
	県	4,264	4,197	4,587
	市債			
	その他	24,742	21,538	22,555
	一般財源	51,546	52,011	55,139

事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明(問題点)
達成度	3	3	保育園入所児童に対して、栄養価に富み衛生管理のゆき届いた給食を提供している。
経済効率性	2	2	3歳未満児については保育園施設内調理するように県の指導指針に定められているため学校給食センターで調理できない。
事務効率性	1	1	学校給食センター2カ所での調理と保育園施設内調理の2本立てのため献立作成面など事務効率に欠ける。
必要性	3	3	給食も保育の一環とされており、性急な民間委託はできない。
小計	9 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	2	2	こどもの食生活のため保護者の関心が強い。
合計	11 / 15 満点中	11 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	
------	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

これまでに実施した改善点

乳児給食の献立表、栄養価計算事務等をパソコン入力し省力化した。

今後改善すべき点

保育園の給食は保育日すべてに提供していくことが必要とされている。学校給食センターでも保育日すべて提供できるように検討したい。

平成16年度予算に反映する項目

3歳以上児給食献立のパソコン入力をオンライン化する為の予算を要求する。

組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	児童課	内線等	2152
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	児童館管理運営事業		
根拠法令等	蒲都市児童館の設置及び管理に関する条例等	A 法令	B 条例	C 規則	D その他 E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	児童・母子（父子）福祉
------------------	-------------

事務事業の内容

対象	0歳から18歳の児童及びその保護者・子育て支援関係者に対して
手段	児童健全育成活動の場を提供することによって
想定する成果	児童健全育成に資する。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
児童館数	5箇所	6箇所	6箇所
利用者数 (1日平均)	433人	517人	510人

成果指標

成果指標名	設置率	1館当たりの1日平均利用者数
成果指標の説明	設置数 / 目標児童館数（7）	利用人数 / 開館日数

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	85.7%
	実績	71.4%	85.7%	-
成果指標	計画	-	-	85.0人
	実績	86.6人	86.2人	-
事業費	事業費	37,176	43,750	46,933
	人件費	53,491	52,883	53,901
	(人数)	6.4	6.4	6.4
	合計	90,667	96,633	100,834
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他	106	274	241
	一般財源	90,561	96,359	100,593

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	国の児童健全育成計画に基づく中学校区に1箇所目標に対して、残り1児童館を建設することにより当初の目的が達成できる。
経済効率性	2	2	利用人数が年々増加しており、なおかつ臨時職員で対応している。
事務効率性	2	2	必要最少限の人数で運営している。
必要性	2	3	時代のニーズに適合した施設である。
小計	8 / 12 満点中	9 / 12 満点中	
市民参加度	3	3	市民からの要望も強く、計画段階から市民とともに計画している。
合計	11 / 15 満点中	12 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	1地区で建設されていないので、当初の目的である中学校区に1箇所の設置が目標であり、未設置中学校区に設置していきたい。
------	---	---	------------------------------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

#### これまでに実施した改善点

14年度現在、おおつか、みや、がまごおり、しおつ、かたはら、にしうら児童館を設置

#### 今後改善すべき点

残りの1箇所である中部中学校区に児童館を建設する。

#### 平成16年度予算に反映する項目

(仮) ちゅうぶ児童館の建設を16, 17年度の2カ年度で建設する。

#### 組織、人員に関する提言

児童館が建設目標を達成できた時点（平成18年度）で、総合的な取りまとめの担当を新設（増）をする体制づくりをすること。

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載



# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	児童課	内線等	8003
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	ひめはる荘管理運営事業				
根拠法令等	児童福祉法第23条		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	児童・母子福祉
------------------	---------

事務事業の内容

対象	経済的理由等により児童の養育に支障をきたす母子またはDV被害者母子に対して
手段	ひめはる荘に入所させることによって
想定する成果	母子保護及び自立支援を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
新規入所世帯総数	0	7	7
途中退所世帯総数	5	6	5
平均入所人員	20.8	14.6	22.0
平均世帯総数	8.2	6.7	11.0

成果指標

成果指標名	法定定員に対する入所率
成果指標の説明	月平均入所世帯数 / 法定定員 (世帯)

事業の進捗状況 (一般会計)

(千円)

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	55.0
	実績	41.0%	33.5%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	4,271	3,800	4,845
	人件費	4,179	4,132	4,211
	(人数)	0.5	0.5	0.5
	合計	8,450	7,932	9,056
財源内訳	国	2,810	1,629	2,141
	県	1,405	815	1,070
	市債			
	その他	2,877	3,965	6
	一般財源	1,358	1,523	5,839

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	経済的弱者の母子受入れ・DV被害者保護・緊急一時保護などのニーズにある程度は応えられている。
経済効率性	2	2	市外からの受け入れの場合はその費用（措置費）を徴収している。
事務効率性	2	2	難しいケースが多いためそのケアに時間がかかる。また施設が老朽化しているため、定員数の入所受け入れが困難。
必要性	2	2	DV防止法が定着しDV被害母子が急増している。経済的弱者も増加しており、今後ますますその必要性は増すと思われる。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	入所者からの意見・要望等を聞く。
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	児童福祉法に定められた施設であり、社会情勢からも離婚・DV被害者が急増している中、このような母子の自立支援をするという大きな役割を担っている。しかし施設が古いため現在の生活様式に合っていない。改築の際にはこれらを改善するとともに定員の見直しが必要である。
------	---	---	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

#### これまでに実施した改善点

・老朽化している施設ではあるが、入所者からの要望になるべく沿うよう限られた予算を有効に使い施設改善をした。

#### 今後改善すべき点

・築30年以上経過しているため、あちこちの老朽化が目立つ。共同トイレ・共同風呂等改善すべき箇所が数多くある。

#### 平成16年度予算に反映する項目

・上記をふまえ、施設の老朽化に伴う修繕料等を増額したい。

#### 組織、人員に関する提言

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載

# 平成14年度事務事業評価表

課長	担当

担当	市民福祉部	児童課	内線等	8003
----	-------	-----	-----	------

事業コード		事務事業名	ひめはる荘母子指導事業				
根拠法令等	児童福祉法第23条		A 法令	B 条例	C 規則	D その他	E なし

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

健康で安心して暮らせるまちづくり	児童・母子福祉
------------------	---------

事務事業の内容

対象	ひめはる荘に入所している母子に対して
手段	所長（母子指導員）・少年指導員による指導・支援をすることによって
想定する成果	母子保護及び自立支援を図る。

事業の概要

項目	平成13年度実績	平成14年度実績	平成15年度計画
新規入所世帯総数	0	7	7
途中退所世帯総数	5	6	5
平均入所人員	20.8	14.6	22.0
平均世帯総数	8.2	6.7	11.0

成果指標

成果指標名	法定定員に対する入所率
成果指標の説明	月平均入所世帯数 / 法定定員（世帯）

事業の進捗状況（一般会計）

（千円）

		平成13年度決算	平成14年度決算	平成15年度予算
成果指標	計画	-	-	55.0
	実績	41.0%	33.5%	-
成果指標	計画	-	-	-
	実績	-	-	-
事業費	事業費	5,126	4,561	5,813
	人件費	5,015	4,958	5,053
	(人数)	0.6	0.6	0.6
	合計	10,141	9,519	10,866
財源内訳	国	3,372	1,955	2,569
	県	1,686	977	1,285
	市債			
	その他	3,453	4,759	7
	一般財源	1,630	1,828	7,005

### 事務事業内容の評価

項目	課内評価	部長評価	評価の説明（問題点）
達成度	2	2	入所者の半数以上が1年未満で自立退所している。
経済効率性	2	2	市外からの受け入れの場合はその費用（措置費）を徴収している。
事務効率性	2	2	入所者の処遇に関わることの出来る職員が少ない。
必要性	2	2	DV防止法が定着しDV被害母子が急増している。経済的弱者も増加しており、今後ますますその必要性は増すと思われる。
小計	8 / 12 満点中	8 / 12 満点中	
市民参加度	1	1	毎月行われる「母の会」で入所者からの意見・要望等を聞く。
合計	9 / 15 満点中	9 / 15 満点中	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	ますます複雑で難しいケースで保護される入所者の自立支援に関わることの出来る職員の増員や、心に傷を負っている入所者に対応できる心理療法士等の配置が望まれる。
------	---	---	-------------------------------------------------------------------------------

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

#### これまでに実施した改善点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「自立支援計画表」に基づき、自立に向けての面接回数を増やした。</li> </ul>
------------------------------------------------------------------------------------

#### 今後改善すべき点

<ul style="list-style-type: none"> <li>・被虐待児童やDV被害者のケアに関わる心理療法士の配置を検討したい。</li> </ul>
--------------------------------------------------------------------------------------

#### 平成16年度予算に反映する項目

--

#### 組織、人員に関する提言

--

各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載